



# NEWS

2021. 7. 17

## No.163

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

Phone.078-612-2402/FAX 078-612-3052/E-Mail kfc@social-b.net

デイサービスセンターハナの会 Phone&FAX 078-612-2408

グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ Phone.078-798-5475・4/FAX 078-798-5476

ハナ介護サービス Phone. (居宅)078-646-8671 (訪問) 078-646-8670/FAX 078-612-3052

ふたば国際プラザ Phone.078-747-0280/FAX 078-747-0290

### ◆通常総会報告と年度方針

例年、KFCの7月発行ニュースには、法人の代表者としてKFCの通常総会報告と年度方針などを書かせてもらっていますが、今回は、まずKFCが運営する小規模多機能型居宅介護ハナで発生した新型コロナウイルス感染クラスターについて、報告させていただきます。

大変残念なことですが、5月2日、KFCが運営する施設・小規模多機能型居宅介護ハナを利用いただいている高齢者が、発熱外来診察のなかで新型コロナウイルス感染の疑いがあるとの指摘を受け、抗原検査を受けたところ、陽性の判定結果となりました。

その後、同じく小規模多機能型居宅介護ハナを利用いただいている高齢者が3人、ケアにあたった職員と施設への応援で入った職員4人も感染し計8人の新型コロナウイルス感染者を出す結果となってしまいました。

感染対策に真摯に取り組みながら事業を進めてきたつもりでしたが、結果として8人の感染者が出たことに重い責任を感じています。

現在は、一時閉鎖していた小規模多機能型居宅介護ハナの通所、宿泊事業も再開し通常の運営に戻りましたが、今回の事態を受けてあらためて新型コロナウイルス (covid19)

の感染力の強さを踏まえたより一層の感染防止に取り組みながらKFC事業を進めていくつもりです。

上記の状況も踏まえて、今年度の総会も昨年と同じく、感染防止対策として、多くの会員に議事委任状をもらい5月29日に開催しました。

総会開催時間を短縮するため、昨年度事業の報告も書面を読んでもらう形ですすめました。

昨年度事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、神戸市からの委託運営施設であるふたば国際プラザが長期間閉鎖される、日本語学習支援、子ども学習支援も度々休止せざるを得ない状況になるなど、人の交流を断つことが、KFC事業に大きな打撃を与えることが実感された1年でした。

一方で、コロナ禍でアルバイトを失うなど困窮する外国人留学生らを救済する事業を神戸市と協働で進めるなど、災厄がふりかかる社会においてKFCの果たせることにも果敢に取り組みました。現在も子どものいる留学生、外国人世帯への食糧・日常生活用品支援を当事者である留学生らの力も活用して進めています。

また高齢者の多くが感染を恐れて、介護事業の利用控えをするなど厳しい状況である中、グループホームハナ、小規模多機能型居宅介護、訪問介護などの事業に於いては、管理職・スタッフの努力によって利用者増や入院者の減少など安定的な事業環境が出来つつあります。

子どもから高齢者まで、様々な背景、ルーツを持つ外国人・移民を支援するKFCとして、事業の質・量ともにコロナ禍の厳しい環境にも関わらず、2020年度は発展できた1年間でした。

2021年度は、ワクチン接種の拡大などコロナ禍から抜け出すための光が見えつつあります。この間、制限されてきた国境を超える人の移動も、新型コロナウイルス感染が収束してくると再開され日本に在住する外国人の増加傾向が再び見えてくると考えます。

国レベルでも「日本語教育の推進に関する法律」の制定、従前在日外国人の管理を主な所管としていた法務省の出入国管理局が、在住外国人の生活適応も視野に入れた組織にリニューアルする形で「出入国管理庁」に格上げされるなどの機構改革が進められています。

その動きに対して、地域に根ざした活動を進めてきたKFCとして今までの発想を超えた事業のあり方、進め方を考え発案する力の醸成が必要となると思えます。まずは、神戸市、兵庫県、各教育委員会など今まで協働してきた自治体などより一層の連携を進めていく予定です。

新たな取り組みとしては、KFCスタッフにより発案を進めるKFC第二創業事業として、「地域を繋げる共生社会へのポータルサイト」事業を始めます。

外国人住民が日々直面する生活課題(携帯電話の契約など)に於いて、どのような情報が役に立ったか、またどのような支援に助けられたかといったトピックをWeb上のプラットフォームで発信、共有、伝達できる新たな仕組みづくりを目指す予定です。

新しい時代に沿ったKFCの事業として発展させていければと思っています。

そのほかにも、新長田再開発地区の活性化に向けての取り組みとして進めてきた地域の多文化資源とランタンを使った「ランタン縁日」事業を規模と地域を拡大して進める計画も進めています。

ほかにもふたば国際プラザの事業が当初3年の委託最終年となるほか、委託元のKICC(神戸国際協力交流センター)の新長田地区への移転など、KFCを取り巻く状況に大きな変化が見込まれます。

いままで培ってきた日本語支援、高齢者支援、子ども支援や他のKFCの事業の歴史を紐解きスピリットを多くの支援者と共有しながら新たな1年を歩みたいと考えています。(理事長 金 宣 吉)

## ◆「パソコンきょうしつ」開講

パソコンで文章を作成したい、ブログで人と繋がりたいなど、パソコンの使い方を勉強したい外国にルーツを持つ神戸市民を対象に、パソコン教室を開催しています。ふたば国際プラザで6月から8月まで夏コースとして毎週土曜日に行われているパソコン教室は、日本語キーボードのタイピング練習から、履歴書作成や動画編集など、一人ひとりの目標に合わせて、様々なコンテンツを用意しています。マスクの着用をお願いするお知らせや、自宅に届く宅急便の「置き配」を案内する掲示など、サンプルを真似て作ってみることを通して実用的なパソコンスキルを向上させていきます。

初日には、スマートフォンの地図アプリケーションの使い方がよく分からず、他の人に道を尋ねたというある方が、スマートフォンとパソコンを連携し、自宅や行きたい場所を設定し、お気に入り追加したり、道案内を設定したりできるようになりました。さらに、3回目(6月19日)には、携帯の写真をパソコンに移し、動画編集プログラムから読み込むことができました！ご自身で撮影された写真や動画を綺麗に編集したいという要望に応えるため、スタッフも頑張ります！

パソコン教室で習得したスキルを生かし、生活がより楽しくなれば良いですね :)  
(李 乘 漢)

## ◆コロナ禍で困窮する外国にルーツを持つ子どものいる家庭への支援事業

パブリックリソース財団の匿名基金 A より支援を受け、神戸市在住の外国にルーツをもつ子どもがいる家庭への支援活動を行なって半年になりました。この間、はじめの申し込みの頃から今まで様々な事情があったり、色々な思いを込めたりして、本当に意義のある事業活動でした。

周知のように、新型コロナウイルス感染症が全世界を席卷し、経済や社会に大きな変化を及ぼしており、今日の一番大きな社会問題となりました。これによって様々な新しい社会問題が生み出され、子どもがいる家庭の生活にも、学校が休校になったり、児童館が閉館したりなどの以前では考えられないほどの深刻な影響を与えました。現在でも、多数の外国にルーツを持つ子どもがいる家庭は、社会面でも経済面でも生活が苦しくなり、大変な状況に陥っています。しかもこういう状況が現在でも続いています。

外国から来た子どもたちは、日本という外国にきて、不慣れた生活環境や文化・価値観の違いなど深刻な問題に直面していたのに、新型コロナウイルス感染症の影響でさらに深刻な状況に陥ったのです。こういう深刻な状況の下で何度も緊急事態宣言が出され、生活を維持していた親たちの仕事もなくなり、さらに深刻化していきました。そこで、K F C が神戸市内の外国ルーツの子どもたちのいる家庭に注目して、多文化共生社会作りを目指して、コロナで仕事が無くなったたり減ったりした中学生以下の外国人の子どもがいる家庭を対象として、食料や生活に必要な物資を無償で届ける事業を行いました。

今回の事業の対象者は 30 家庭に限られ、神戸市の中央区、灘区、長田区、兵庫区、東灘区、北区までの幅広い地域から申し込みがありました。事業の具体的な流れとしては、周辺のスーパーで申し込み時に希望していた支援物資を購入し、車で配布するというものです。2021 年 2 月から事業が始まり、毎週水曜日、月 4~5 回、1 日あたり 6~9 家庭に支援物資を配達しました。支援物資の内容は、主に米、牛乳、たまご、乾麺、おむつなどの食料品と子どもが使う日常生活用品でした。支援対象家庭について、私には韓国にルーツをもつ一家庭が強く印象に残りました。その韓国人の一家庭は夫婦が 6 人の子どもを育てる 8 人の大家族で、新型コロナウイルス感染症の等の影響によりご主人の仕事が激減し、収入も少なくなり、毎月、日々の生活が不安定な状況に入り、妻も協力しようと思っっているようですが 0 歳児と 1 歳児の子守をしなければならないという大変な状況でした。彼の話を知ると、彼は一時的に役所の支援金に頼り、何とか生活できていたと話していました。そこで、この事業を聞き、申請したとのこと。私たちが月に 1 回米、牛乳、たまご、乾麺などの支援物資を渡すと大変感謝してくださいました。

この事業は一応 2021 年 7 月末をもって終了する予定です。しかし、まだ経済的に不安定な家庭が多く、新型コロナウイルス感染症もなかなか収まっていない状態であるので、この活動を継続し、こういった状況を少しでも改善したいと考えています。この活動は、また私にとっても人生での貴重な経験となりました。これからは、外国人の子どもたちに対してこういう活動を実施し、支援する必要があると強く感じました。

配布物資に関しては、フードバンク関西様や神戸 YMCA 様などの多大なご協力もいただきました。この場をお借りして、お礼申し上げます。(永 良)

## KFC 日本語プロジェクト

### ◆木曜日夜クラスの

### オンライン学習挑戦!

木曜夜の日本語教室には3人の学習者が通っています。うち2人はネパール人の母娘です。仕事終わりに途中下車をしてふたばの教室に通ってくれているのですが、緊急事態宣言で教室が使えなくなり、お二人にとって初めてのズーム学習を行うことになりました。

ご自宅の1階と2階にお母さん娘さんそれぞれ分かります。支援者ふたりも自宅からパソコンでズームに入り、最初は皆でちょっと照れ笑い。「元気ですか〜？つながったね!」と大喜びしてブレイクアウトルームに分かります。

その時のお母さんと私との様子です。

漢字や言葉の説明をするとき、こちらは小型ホワイトボードに太字の黒マーカーで大きくわかりやすく書いたつもりでも、「先生!もうちょっと近く(に写して)!ちょっと右、あ左!」と、スマホ画面を近づけたり遠ざけたり、目を凝らして見えにくく困っている様子が伺えます。スマートフォンで参加されているので、ちょっとした画面操作でも指先がぶれると思わぬボタンを押してしまったり戻せなくなったり、最初から入りなおすことになったりして、操作でずいぶん時間を使いました。

1回目の反省から、2回目は問題集のコピーを事前にご自宅に送り、その答え合わせをするようしました。学習はスムーズに運ぶようにはなりましたが、やや説明不足かなあとこちらには不安が残りました。

スマホでのズーム学習で文字が見えにくい、言葉が聞き取りづらい、質問しにくいというのでは困ります。集中しすぎて目が痛くて学習後に「あー疲れたー」という感想ではなく、「あ〜今日も楽しかった〜」という思いで終わってほしいので、支援者側には対面

のとき以上に工夫が必要であることを感じました。

ズームの1対1では雑談の時間が少なくなり、学習方法がワンパターンだと単調で疲れやすいです。文法を使った会話練習を入れたり、カードを使ったり、書く時間を設けてみたりと、気分転換も含めた配慮が必要だと感じました。

ズームのホワイトボード機能やパワーポイントでの画面共有も可能ですが、ほんのちょっとだけ提示したいというときには、小型のホワイトボードと太字マーカーを手元に用意している方が学習者の反応がすぐに読み取れます。

また、特に準備しなくてもできるのですが、私はマイクとイヤホンがセットになったヘッドセットを用意しました。自分が無理に大きな声を張らなくても良いこと、学習者の声が聞き取りやすいこと、生活音を防ぐこと等からあると便利です。

3回のズームのあと対面学習が再開されて感想を尋ねると「会って勉強する方がいいわー、もうズームはいいわ。家は楽やけど」とのことでした。私も対面の方が楽しくて好きですが、今度またこのような機会があるためのために、いろいろな方法を勉強してみたいと思いました。(岡本 道代)

### ◆日本語の勉強方法

「日本語が難しい」「漢字を覚えられない」「敬語は複雑だ」など日本語を勉強している外国人が言います。そうだと私も思います。ベトナムから来た時、「ありがとうございます」と「すみません」しか言えなかったのが多かったです。幸運なことにKFCというボランティアの日本語教室、日本語を勉強したい人に教える教室があり、日本に



が近くなったように感じます。まだ暫くは LINE を使った面会となると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

(星野 敬子)

## ふたば国際プラザ

### ◆生活ガイダンス

#### 「子どもの学校生活のために、 おぼえておきたい 50 のことば」

ふたば国際プラザでは、外国人住民向け生活ガイダンスをしています。2021年5月6月は、「子どもの学校生活のために、おぼえておきたい 50 のことば」と題して、「学校からのお便りが読めなくて困っている」という声に応える形で行いました。緊急事態宣言中でしたので、個別に計4回行い、5名の方が参加されました。

参加者の方は、来年以降に小学校に入学するお子さんがいる方が3名、既に小中学校に通わせている方が2名でした。日本語の説明が理解できる方が1名、英語や母語での説明が必要な方が4名でした。スタッフによる通訳補助を入れながら進めました。

テーマの「50 のことば」はそれぞれの日本語レベルや子どもの状況によって参加者に合わせたことばを選び説明しました。準備していたお便りの例を読んだ方は1名でした。ガイダンスではお話を聞く時間も設けました。参加者全員、子どものことをとても気にかけているのが伝わってきました。「自国とは学校の開始月が違うので子どもの時間が無駄になる」、「毎日送り迎えをしていたので先生とのコミュニケーションが十分できていたが、今は日本語がわからないのでできない」、「子どもが授業についていって

るか、仲間はずれにされていないか心配している」、「学校の中の様子がわからないが知りたいと思っている」等々、話が尽きませんでした。

日本語の会話が十分できる方でも「学校のお便りは見ない、見てもわからないから。担任の先生に電話で聞くことにしている」と話

され、お便りを読むことのハードルが高いことがわかりました。別の方は「外国人学校へ行かせる予定。保護者として言葉が通じないところへ子どもを行かせるのは心配だから」と言っていました。他にも「小学校の先生は英語が通じるでしょうか？」と返答に窮する質問もありました。ウーム、通じるかな?!

今回、担当させてもらって、ガイダンスが必要な方は大まかに3つに分かれると見受けられます。まず子どもの入学手続きや日本の学校の仕組み、進学について知りたい方。次に学校の学習内容や行事など子どもが何をしているのか知りたい方、最後に自分の子どものことを先生と話したい方です。当初の困りごと「お便りが読めない」という声は、お便りを読む日本語力を向上させたいというより、保護者として十分に対応していないのではないかという不安をわかってほしい、その不安を払拭するためのサポートがほしい、という心の声の代弁なのかもしれません。ふたば国際プラザでは、今後も一人一人の子どものために、その子どもの保護者のために、より充実したガイダンスの体制を整えるよう取り組んでいこうと思います。

(奥 優伽子)

# K F C ハナの会

## ◆山下俊平ドライバーにインタビューしました！

Q 1) デイサービスセンターハナの会の送迎ドライバーは、どのくらいされていますか？

A 1) 6年ぐらいになります。長田には18歳のころから働いていてとても愛着がある場所です。神戸市、特に長田のことは良く知っています。

Q 2) ドライバーの仕事は初めてですか？

A 2) そうですね。長年、靴メーカーにいましたので、まったく初めてです。高齢者に関わる仕事も初めてです。

Q 3) どんなところにやり甲斐を感じますか？

A 3) 利用者から昔の話をきくことができたり、いろんなことを教えてもらえたりするのはいいですね。自分の認知症予防にもなっています(笑)

Q 4) 難しいと思うところは、どんなところでですか？

A 4) お知らせした迎えの時間にきっちりと行くのが難しいです。雨や事故の道路状況の影響で道が混んでいることもありますし、車椅子を利用するときにも難しさを感じます。

Q 5) これまでの印象的な出来事と言えば？

A 5) やはり、阪神大震災ですね。この地震を経験したことで、ハナの会の利用者ともいろんな話でつながることがあります。

Q 6) ハナの会の利用者やスタッフに対して、一言お願いします。

A 6) ここの利用者やスタッフはとても優しいと思います。母が認知症でグループホ

ーム入所や入院などを経験したことがあります。その時の経験をしてみて、そう思います。

Q 7) ところで、いつも素敵な靴を履いていますね?! 靴に対する特別なこだわりがありますか? どこで買っていますか?

A 7) 特にないですよ。気まぐれでいろんなところで買っています。

\*インタビューを終えて。

ハナの会の送迎範囲は、名谷のあたりから三宮までとかなりの広範囲に渡っていますが、抜け道を知っている山下ドライバーの車はどんどん進みます(笑) また、運行中に世間話などしながら利用者の状態を伺ってくださったりもします。時に利用者を励ましたり、うんうんと優しい相槌で傾聴したりと優しい山下ドライバーです。今後ともどうぞ、よろしくお願いします!

↓見えにくいかもしれませんが、黒のスニーカー(左)と違う日の赤と黒のスニーカー(右)。毎日、スニーカーが違うんです!(やっぱりこだわりありますよね?!(笑))

(鄭秀珠)





◆今後の予定

■ふたば国際プラザ

○ヒューマン・シネマ上映会

7月30日(金)18:00~20:15

『I am Sam(アイアムサム)』

(2001年・アメリカ)

8月20日(金)18:00~20:00

『WARM BODIES (ウォーム・ボディーズ)』

(2013年 アメリカ映画 98分 字幕)

○生活ガイダンス<7月>

新型コロナウイルスのワクチン

予約と接種の流れについて



○日本語ボランティア基礎講座<全8回>

9月12日~10月31日毎週日曜日 13:30~15:30

■外国にルーツを持つ小学生対象の

夏休みランチ付き学習教室

7/22~8/24のうち10日間